

リストNo	10-002	施設コード	05426		
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設				
施設名	ふれあい交流センターいたや(いきいきプラザ中央)				
所在(町名・番地)	中区板屋町596				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史		
	施設	中区・長寿保険課	課長名 近藤 雅訓		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市ふれあい交流センター条例				
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)				
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~				
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会				
開館時間	9:00 ~ 16:30				
建物情報	総延床面積	888.91	土地面積	829.23	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	829.23
	地上階数(主要建物)	14			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2001/2/28			
	経過年数(主要建物)	22		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域	商業地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	102	93	444
	収入計(A)	102	93	444
支出(千円)	人件費	11,776	11,470	11,458
	物件費(委託料)	2,187	2,224	2,156
	維持補修費(修繕費)	243	157	2,293
	物件費(光熱水費)	2,650	2,027	2,074
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	16,856	15,878	17,981	
行政コスト(B-A)	16,754	15,785	17,537	
収支前年比	106.14	90.01	70.73	
(参考)指定管理料	16,184	16,184	16,184	
(参考)減価償却費	6,452	6,452	6,452	
利用状況	利用コマ数/年	355	306	304
	利用可能コマ数/年	1,854	618	534
	施設利用者数/年	10,241	11,039	10,754
	開館日数/年	309	309	267
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	220,158	151,329	—	

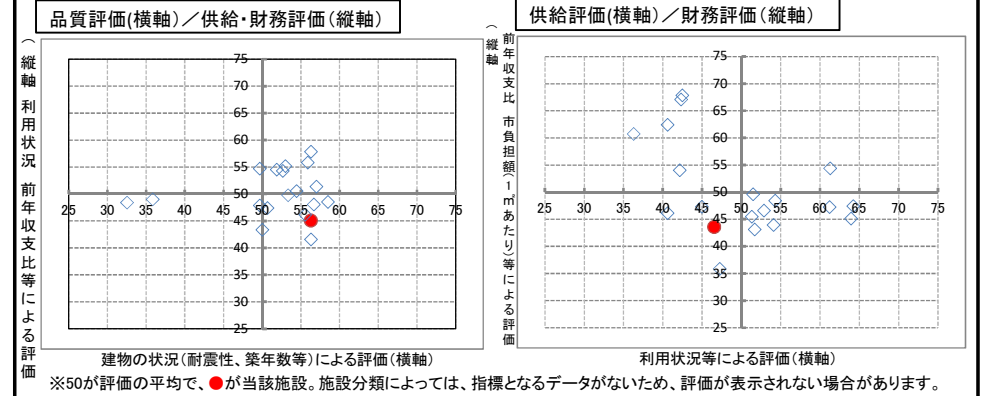
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	浴室改修工事	20,284			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
09-004	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.0	
19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.1	
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン	広域	0.2	
12-001	アクトシティ浜松Cゾーン	広域	0.2	
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン	広域	0.3	
19-001	駅北駐車場	地域	0.3	
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	0.3	
11-002	浜松市若者コミュニティプラザ	市域	0.3	



基本情報	リストNo	10-002	施設コード	05426	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センターいたや(いきいきプラザ中央)			施設	中区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいがづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		高年齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			高年齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。		
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。		
	特記事項	交通至便な場所に位置し、市内全域から利用がある。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		いたやフェスティバル開催事業 ※年齢制限なし、入場自由のイベント(延べ募集人数は該当なし)	2022	—	—	中止	
			2021	—	—	中止	
			2020	—	—	中止	
			2019	—	—	中止	
事業②		教養講座開催事業 ※延べ募集人数は 各講座募集定員数×開催回数の合計、多少募集定員数を超過しても受講申し込みを受け付けている	2022	—	334	386	
			2021	—	256	192	
			2020	—	332	238	
事業③	出前講座・映画出張上映会(2021年度から出前講座のみ実施) ※募集定員なし、施設利用者が自由に参加(延べ募集人数は該当なし)	2022	—	—	19		
		2021	—	—	104		
		2020	—	—	139		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	平成13年開館と比較的新しい施設であるが、経年劣化により修繕が必要な箇所が増えてきている。					
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。		
	広域化	—	—	—	—		
民生活導入	指定管理者導入済みであり、今のところ民間活力活用の可能性はない。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	18,848	17,758	19,729	1人当たりのコスト(円)	1,636	1,430	1,631
	施設利用率(%)	19.1	49.5	56.9	1開館日当たりのコスト(円)	54,220	51,084	65,682
	1日当たり利用者(人)	33	36	40	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。					
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。							

リストNo	10-003	施設コード	05427		
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設				
施設名	ふれあい交流センター竜西				
所在(町名・番地)	東区中郡町684-1				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史		
	施設	東区・長寿保険課	課長名 鈴木 和紀		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市ふれあい交流センター条例				
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)				
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~				
管理者名	(株)ヤタロー				
開館時間	9:00 ~ 16:30				
建物情報	総延床面積	1,803.52	土地面積	7,174.71	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	5,465.71
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	1,709.00
	建築年月日(主要建物)	1988/3/20			
	経過年数(主要建物)	35			
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—	—	
特記事項	—				



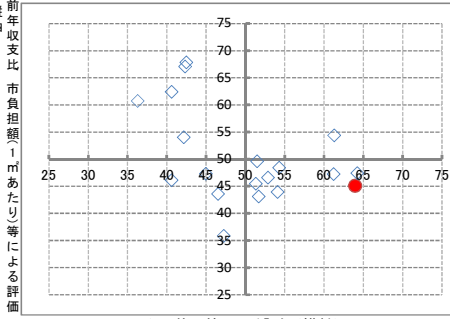
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	207	243	194
	収入計(A)	207	243	194
支出(千円)	人件費	12,497	10,783	13,664
	物件費(委託料)	5,895	6,043	5,955
	維持補修費(修繕費)	1,362	432	220
	物件費(光熱水費)	4,410	3,679	3,146
	物件費(借地料)	1,485	1,485	1,485
支出計(B)	25,649	22,422	24,470	
行政コスト(B-A)	25,442	22,179	24,276	
収支前年比	114.71	91.36	87.63	
(参考)指定管理料	25,300	25,300	25,531	
(参考)減価償却費	19,412	19,412	19,412	
利用状況	利用コマ数/年	1,725	1,413	1,464
	利用可能コマ数/年	6,864	5,008	3,510
	施設利用者数/年	38,375	37,041	33,521
	開館日数/年	312	313	270
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	266,382	213,152	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	浴室改修工事	42,711			
2022	屋根防水工事	11,600			
2015	空調設備改修工事	67,476			
2007	老人福祉センター竜西荘下水道接続工事	7,350			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
17-003	万斛庄屋公園	地域	0.2
07-021	なかごおり第2放課後児童会	生活	0.5
15-032	中郡小学校	生活	0.5
15-113	中郡中学校	生活	0.7
08-032	橋爪幼稚園	生活	0.7
08-028	万斛幼稚園	生活	0.8
11-009	浜北障害者生活介護施設光の園	市域	0.9
03-054	浜名協働センター	生活	1.1



基本情報	リストNo	10-003	施設コード	05427	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター竜西			施設	東区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		機能回復訓練の実施	2022	—	—	5,477	
			2021	—	—	4,551	
			2020	—	—	131	
			2022	—	580	416	
事業②		教養講座の実施 ※延べ募集人員は、各講座の募集人数×開催回数の合計 参加者数は各講座の参加者数×開催回数の合計	2021	—	405	183	
			2020	—	156	88	
			2022	—	—	366	
事業③		地域との交流(竜西まつり、作品展、地域ボランティア等)による催し物の開催)	2021	—	—	109	
			2020	—	—	106	
	2022		—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	築35年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。					
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。また、令和4年度に浴室をキッズルーム等に改修した。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民生導入	指定管理者導入済みであり、今のところ民間活力活用の可能性はない。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	14,107	12,298	13,460	1人当たりのコスト(円)	663	599	724
	施設利用率(%)	25.1	28.2	41.7	1開館日当たりのコスト(円)	81,545	70,859	89,911
	1日当たり利用者(人)	123	118	124	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。</p>								

リストNo	10-004	施設コード	05428
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター湖東		
所在(町名・番地)	西区和地町1833-1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	西区・長寿保険課	課長名 鈴木 孝治
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	1,063.03	土地面積 5,931.72
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.83	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1971/3/31	
	経過年数(主要建物)	52	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	110	119	317
	収入計(A)	110	119	317
支出(千円)	人件費	10,891	11,427	11,275
	物件費(委託料)	4,440	4,374	4,190
	維持補修費(修繕費)	168	2,085	1,415
	物件費(光熱水費)	2,456	1,602	1,348
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	17,955	19,488	18,228	
行政コスト(B-A)		17,845	19,369	17,911
収支前年比		92.13	108.14	100.33
(参考)指定管理料		22,642	22,642	22,642
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	793	970	562
	利用可能コマ数/年	3,090	3,090	2,670
	施設利用者数/年	16,141	14,614	13,633
	開館日数/年	309	309	267
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	147,133	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	大広間空調設備更新工事	6,543			
2006	改修工事	2,268			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
08-040	和地幼稚園	生活	0.1
14-050	浜松第37分団	コミュニティ	0.2
03-087	下之谷会館	コミュニティ	0.2
24-020	和地排水機場	—	0.6
26-011	湖東浄化センター	—	0.8
15-119	湖東中学校	生活	0.9
13-039	湖東団地	地域	0.9
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.1



基本情報	リストNo	10-004	施設コード	05428	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター湖東			施設	西区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		機能回復訓練の実施に関する業務	2022	—	—	7,333	
			2021	—	—	7,587	
			2020	—	—	5,119	
			2022	—	—	679	
事業②		教養の向上及びレクリエーションの実施に関する業務(2020年コロナのため未実施)	2021	—	—	732	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	
	2020		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築52年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。					
	対応策	施設・設備の改修や備品の更新を計画的に行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者導入済みであり、今のところ民間活力活用の可能性はない。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	16,787	18,221	16,849	1人当たりのコスト(円)	1,106	1,325	1,314
	施設利用率(%)	25.7	31.4	21.0	1開館日当たりのコスト(円)	57,751	62,683	67,082
	1日当たり利用者(人)	52	47	51	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。</p>								

基本情報	リストNo	10-005	施設コード	05429	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター湖南			施設	西区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいがづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		機能回復訓練の実施に関する業務	2022	—	—	5,499	
			2021	—	—	5,374	
			2020	—	—	4,234	
			2022	—	—	341	
事業②		教養の向上及びレクリエーションの実施に関する業務	2021	—	—	605	
			2020	—	—	616	
			2022	—	—	—	
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築38年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。					
	対応策	施設の長寿命化のため、令和5年度に大規模修繕を実施中。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者導入済みであり、今のところ民間活力活用の可能性はない。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	14,693	11,611	11,638	1人当たりのコスト(円)	1,181	1,097	1,257
	施設利用率(%)	43.1	43.2	43.1	1開館日当たりのコスト(円)	83,751	66,184	76,775
	1日当たり利用者(人)	71	60	61	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。								

施設カルテ 2023

リストNo	10-007	施設コード	05431			
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設					
施設名	ふれあい交流センターつつじ					
所在(町名・番地)	西区雄踏町宇布見4720					
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史			
	施設	西区・長寿保険課	課長名 鈴木 孝治			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市ふれあい交流センター条例					
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	9:00 ～ 16:30					
建物情報	総延床面積	353.98	土地面積	1,091.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	1,091.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1991/10/31				
	経過年数(主要建物)	31				
用途地域	第二種中高層住居専用地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	1
	収入計(A)	0	0	1
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	286	328	341
	維持補修費(修繕費)	0	608	432
	物件費(光熱水費)	656	598	548
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	942	1,534	1,321	
行政コスト(B-A)		942	1,534	1,320
収支前年比		61.41	116.21	70.70
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,654	3,654	3,654
利用状況	利用コマ数/年	409	409	366
	利用可能コマ数/年	618	618	534
	施設利用者数/年	3,348	3,422	3,394
	開館日数/年	309	309	267
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	17	8,527	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	交流センター外壁・屋根改修工事	7,160			

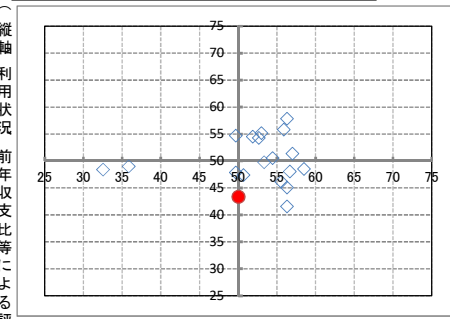
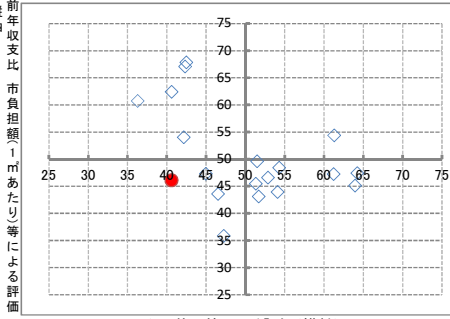
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
10-005	ふれあい交流センター湖南	地域	1.2
同分類			
その他の分類			
04-036	重要文化財中村家住宅	文化財	0.5
13-038	領家団地	地域	0.5
08-017	雄踏保育園	生活	0.5
03-011	雄踏文化センター	地域	0.6
15-122	雄踏中学校	生活	0.7
16-009	雄踏学校給食センター	地域	0.7
15-047	雄踏小学校	生活	0.7
06-009	雄踏図書館	地域	0.7



基本情報	リストNo	10-007	施設コード	05431	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センターつつじ			施設	施設	西区・長寿保険課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	高齢者の生きがいづくり及び地域の子育てを支援					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		談話室の利用	2022	—	—	2,208	
			2021	—	—	2,393	
			2020	—	—	2,336	
事業②		集会室の利用	2022	—	—	853	
			2021	—	—	812	
			2020	—	—	916	
事業③		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	築31年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。					
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。		
	広域化	—	—	—	—		
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	2,661	4,334	3,729	1人当たりのコスト(円)	281	448	389
	施設利用率(%)	66.2	66.2	68.5	1開館日当たりのコスト(円)	3,049	4,964	4,944
	1日当たり利用者(人)	11	11	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考	 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 前年収支比率等による評価</p>				 <p>縦軸 前年収支比率 横軸 利用状況等による評価</p>			
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修を進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。</p>								

基本情報	リストNo	10-008	施設コード	05430	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター舞阪			施設	西区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	舞阪保健センター					
施設運営分析	関連政策名	高齢者の生きがいづくり及び地域の子育てを支援					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		マッサージ機の利用	2022	—	—	1,908	
			2021	—	—	3,491	
			2020	—	—	3,842	
事業②		同好会活動事業	2022	—	—	3,802	
			2021	—	—	3,209	
			2020	—	—	3,118	
事業③		各種講座の開催	2022	—	—	285	
			2021	—	—	352	
			2020	—	—	375	
事業④	集団がん検診	2022	—	—	750		
		2021	—	—	750		
		2020	—	—	750		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築39年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。					
	対応策	当面、事後保全による修繕を行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,652	1,282	1,557	1人当たりのコスト(円)	464	349	410
	施設利用率(%)	55.2	70.0	51.2	1開館日当たりのコスト(円)	12,219	9,480	13,068
	1日当たり利用者(人)	26	27	32	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修を進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。</p>								

基本情報	リストNo	10-009	施設コード	05432	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター陽だまり			施設	西区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		自主事業の講座(手作り教室、健康教室等)	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数
			2021	—	—	—	13
			2020	—	—	—	30
			2019	—	—	—	—
事業②		—	2022	—	—	—	—
			2021	—	—	—	—
事業③		—	2022	—	—	—	—
	2021		—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—	
		2021	—	—	—	—	
2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成13年開館と新しい施設であるが、経年劣化により修繕が必要な箇所が増えてきている。					
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。また、ふれあい交流センターでは、令和2年度から7年度にかけて、順次、浴室を講座室に改修する工事を行っていく予定であるが、陽だまりは、令和2年4月から、浴室を介護予防事業参加者に限定して利用可とし、地元や利用者との協議を重ね、令和6年度末を限度として終了することとした。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者導入済みであり、今のところ民間活力活用の可能性はない。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	25,087	21,626	22,545	1人当たりのコスト(円)	1,833	1,494	1,786
	施設利用率(%)	70.6	74.0	73.4	1開館日当たりのコスト(円)	26,574	22,993	27,207
	1日当たり利用者(人)	15	15	15	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修を進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。								

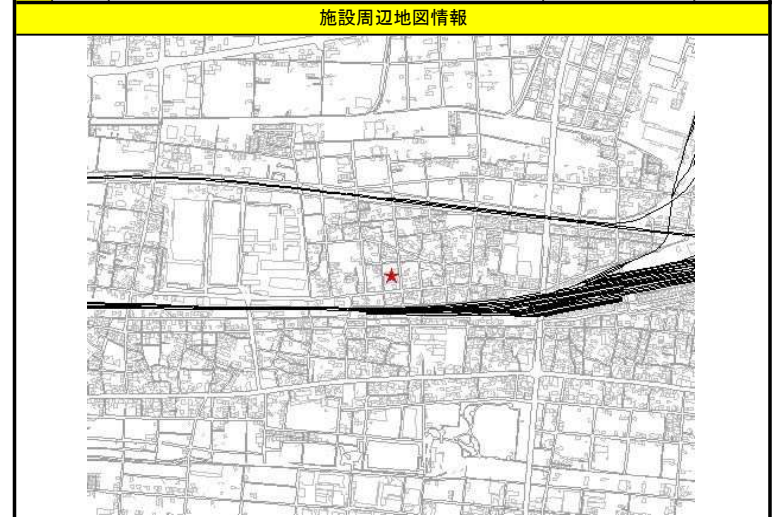
リストNo	10-010	施設コード	05434	
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設			
施設名	ふれあい交流センター可美			
所在(町名・番地)	南区増楽町1645-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史	
	施設	南区・長寿保険課	課長名 島 一道	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市ふれあい交流センター条例			
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)			
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~			
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会			
開館時間	9:00 ~ 16:30			
建物情報	総延床面積	1,729.23	土地面積 3,864.64	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1992/7/9		
	経過年数(主要建物)	30		
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	83	83	251
	収入計(A)	83	83	251
支出(千円)	人件費	11,430	11,414	11,762
	物件費(委託料)	4,665	4,523	4,572
	維持補修費(修繕費)	653	760	93
	物件費(光熱水費)	3,218	1,941	1,908
	物件費(借地料)	1,271	1,271	1,271
支出計(B)	21,237	19,909	19,606	
行政コスト(B-A)		21,154	19,826	19,355
収支前年比		106.70	102.43	69.91
(参考)指定管理料		26,469	26,469	26,469
(参考)減価償却費		15,725	15,725	15,725
利用状況	利用コマ数/年	1,215	1,736	1,374
	利用可能コマ数/年	3,708	3,708	3,204
	施設利用者数/年	23,262	22,022	18,320
	開館日数/年	309	309	267
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	148,968	240,334	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2014	空調設備改修工事	36,180			
2007	給湯ボイラー交換工事(機械設備工事)	6,090			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
08-041	可美幼稚園	生活	0.2
07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	0.2
15-051	可美小学校	生活	0.2
03-049	可美協働センター	生活	0.4
05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域	0.5
15-125	可美中学校	生活	0.5
08-018	可美保育園	生活	0.9
06-003	西図書館	地域	1.0



基本情報	リストNo	10-010	施設コード	05434	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター可美			施設	南区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいがづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		教養講座	2022	—	473	395	
			2021	—	461	460	
			2020	—	530	489	
事業②		健康増進に関する指導	2022	—	不定数	3,504	
			2021	—	不定数	3,235	
			2020	—	不定数	2,863	
事業③		生活相談・健康相談	2022	—	不定数	—	
	2021		—	不定数	—		
	2020		—	不定数	1		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増大が予想される。					
	対応策	施設・設備の改修や備品の更新を計画的に行う。令和5年度には長寿命化による外壁改修が行われた。また、令和6年度に浴室を講座室等に改修する工事を行う予定。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者導入済みである。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	12,233	11,465	11,193	1人当たりのコスト(円)	909	900	1,056
	施設利用率(%)	32.8	46.8	42.9	1開館日当たりのコスト(円)	68,460	64,162	72,491
	1日当たり利用者(人)	75	71	69	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。</p>								

リストNo	10-011	施設コード	05433		
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設				
施設名	ふれあい交流センター江之島				
所在(町名・番地)	南区江之島町606				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史		
	施設	南区・長寿保険課	課長名 島 一道		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市ふれあい交流センター条例				
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)				
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~				
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会				
開館時間	9:00 ~ 16:30				
建物情報	総延床面積	1,215.15	土地情報		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積	9,648.88
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積	9,648.88
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.48		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—		代表地目(現況地目)	官公庁用地
	建築年月日(主要建物)	1980/3/20			
	経過年数(主要建物)	43			
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—		
特記事項	—				



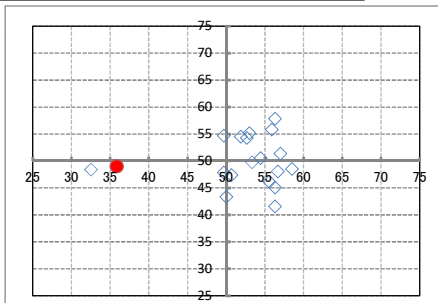
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	194	199	475
	収入計(A)	194	199	475
支出(千円)	人件費	11,801	11,204	11,387
	物件費(委託料)	4,346	4,097	4,171
	維持補修費(修繕費)	32	226	418
	物件費(光熱水費)	2,258	1,370	1,257
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	18,437	16,897	17,233	
行政コスト(B-A)	18,243	16,698	16,758	
収支前年比	109.25	99.64	80.73	
(参考)指定管理料	24,398	24,398	24,398	
(参考)減価償却費	7,804	7,804	7,804	
利用状況	利用コマ数/年	1,136	879	924
	利用可能コマ数/年	2,472	2,472	2,136
	施設利用者数/年	20,322	16,925	13,229
	開館日数/年	309	309	267
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	319,861	19,155	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2013	空調設備改修工事	16,230			
	2008	給水配管改修工事	5,595			
	2006	ソーラーパネル改修工事(機械設備工事)	4,515			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	01-016	南区役所	地域	0.1
	15-123	江南中学校	生活	0.4
	17-005	遠州灘海浜公園	地域	0.4
	24-025	寺脇排水機場	—	0.5
	05-015	江之島アーチェリー場	地域	0.7
	24-023	五島西排水機場	—	0.7
	20-008	南部清掃工場	地域	0.8
	04-020	浜松まつり会館	地域	0.9



基本情報	リストNo	10-011	施設コード	05433	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター江之島			施設	南区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			令和5年度に施工予定の大規模改修により新規利用者の増加が見込まれる。			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		教養講座	2022	—	2,244	1,949	
			2021	—	2,183	1,842	
			2020	—	1,787	1,588	
事業②		生活相談・健康相談	2022	—	不定数	13	
			2021	—	不定数	22	
			2020	—	不定数	21	
事業③		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
	2020		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築43年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増大が予想される。					
	対応策	施設の長寿命化のため、令和5年度に大規模修繕を実施中。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者導入済みである。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	15,013	13,742	13,791	1人当たりのコスト(円)	898	987	1,267
	施設利用率(%)	46.0	35.6	43.3	1開館日当たりのコスト(円)	59,039	54,039	62,764
	1日当たり利用者(人)	66	55	50	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。</p>								

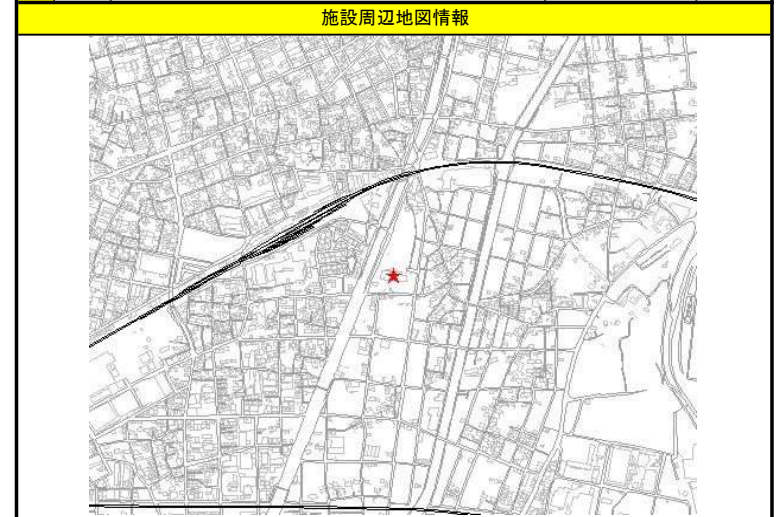
リストNo	10-012	施設コード	05435	
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設			
施設名	ふれあい交流センター青龍			
所在(町名・番地)	南区青屋町300			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史	
	施設	南区・長寿保険課	課長名 島 一道	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市ふれあい交流センター条例			
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)			
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~			
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会			
開館時間	9:00 ~ 16:30			
建物情報	総延床面積	2,063.48	土地情報	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		土地面積
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		932.00
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積
	建築年月日(主要建物)	2003/3/25		10,407.19
	経過年数(主要建物)	20		代表地目(現況地目)
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
	一般財源	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	217	192	472
	収入計(A)	217	192	472
支出(千円)	人件費	11,739	14,129	13,770
	物件費(委託料)	6,612	6,488	6,416
	維持補修費(修繕費)	2,321	1,922	1,131
	物件費(光熱水費)	5,759	4,427	4,355
	物件費(借地料)	10,677	10,677	10,677
支出計(B)	37,108	37,643	36,349	
行政コスト(B-A)		36,891	37,451	35,877
収支前年比		98.50	104.39	90.42
(参考)指定管理料		16,088	16,088	16,088
(参考)減価償却費		13,290	13,290	13,290
利用状況	利用コマ数/年	1,686	1,718	1,745
	利用可能コマ数/年	4,286	4,326	4,806
	施設利用者数/年	27,271	29,941	26,917
	開館日数/年	309	309	267
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	24,367	334,223	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2016	給湯設備更新工事	7,055			
2010	チャユニット圧縮機交換工事	1,859			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
09-005	東部保健福祉センター(いきいきプラザ天竜川)	地域	0.0
23-125	天竜川駅自由通路	地域	0.4
15-114	天竜中学校	生活	0.8
07-071	たけの子放課後児童会	生活	0.8
15-038	和田東小学校	生活	0.8
14-042	浜松第20分団	コミュニティ	0.9
14-009	東消防署	地域	0.9
07-026	和田っ子放課後児童会	生活	1.0

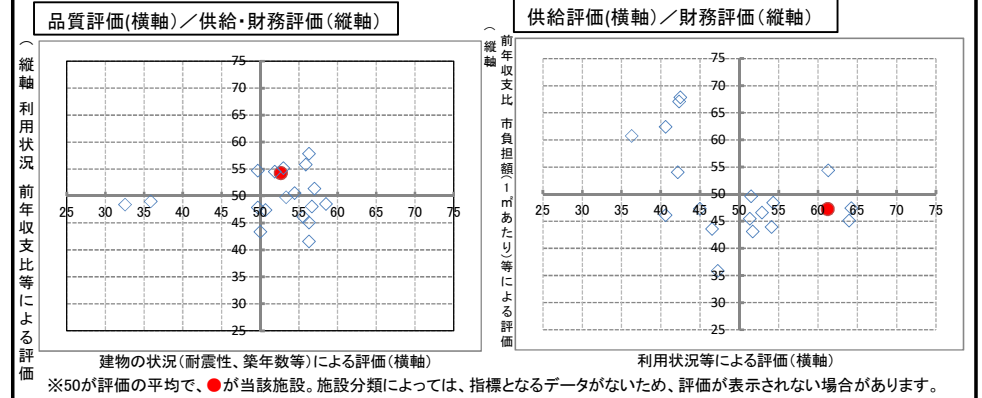


基本情報	リストNo	10-012	施設コード	05435	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター青龍			施設	南区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		教養講座	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	284	112	
			2020	—	32	10	
事業②		生活相談・健康相談	2022	—	不定数	—	
			2021	—	不定数	—	
			2020	—	不定数	10	
事業③		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
	2020		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築20年が経過し、施設・設備の経年劣化により修繕が必要な箇所が増えてきている。					
	対応策	中長期的な修繕計画を立て、市民サービスの低下につながらないように計画的に修繕を行っていく。また令和6年度に浴室を講座室等に改修工事を行う予定。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者導入済みである。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	17,878	18,149	17,387	1人当たりのコスト(円)	1,353	1,251	1,333
	施設利用率(%)	39.3	39.7	36.3	1開館日当たりのコスト(円)	119,388	121,201	134,371
	1日当たり利用者(人)	88	97	101	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。</p>								

基本情報	リストNo	10-013	施設コード	05436	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター萩原			施設	北区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいがづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するため設置(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		生活相談及び健康相談に関する業務	2022	—	—	1,073	
			2021	—	—	774	
			2020	—	—	1,112	
事業②		教養の向上及びレクリエーションの実施に関する業務	2022	—	—	785	
			2021	—	—	450	
			2020	—	—	755	
事業③		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築32年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。今後、施設修繕費の増加が予想される。					
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。また、令和4年度に浴室をキッズルーム等に改修した。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。		
	広域化	—	—	—	—		
指定管理者導入済みであり、今のところ民間活力活用の可能性はない。							

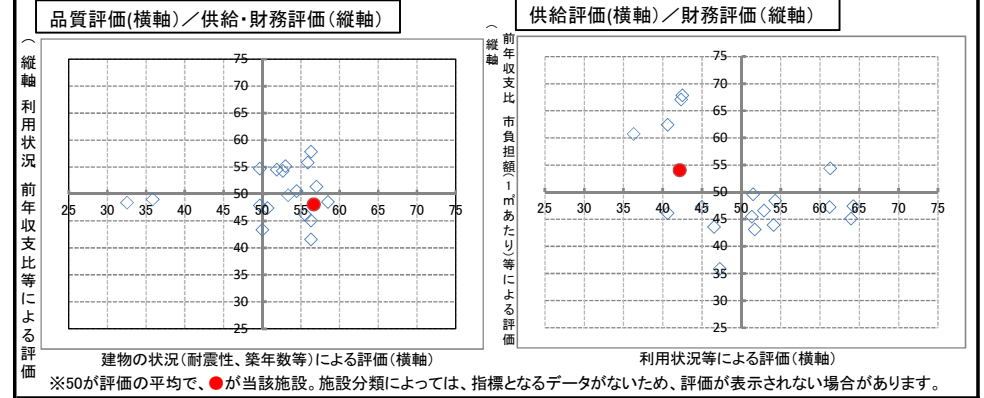
参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	12,572	12,347	10,872	1人当たりのコスト(円)	639	559	600
	施設利用率(%)	23.3	26.5	31.3	1開館日当たりのコスト(円)	69,482	68,239	69,539
	1日当たり利用者(人)	109	122	116	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。					
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。							

基本情報	リストNo	10-014	施設コード	00928	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	細江介護予防センター			施設	北区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の健康増進と生きがいのある生活を維持し、要介護状態及び要支援状態になることを予防するために設置					
		主な業務内容	健康増進、介護予防に関する事業の実施				
		主な利用者	浜松市内在住の60歳以上の者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢者は増加しており、ニーズは高まる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		いきいき講座	2022	—	—	159	
			2021	—	—	135	
			2020	—	—	174	
事業②		元気はつらつ教室	2022	—	—	2,110	
			2021	—	—	2,445	
			2020	—	—	2,851	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現在、主に介護予防事業「元気はつらつ教室」の実施場所として使用している。平成14年に建築した施設であり、今後の施設修繕費の増加が見込まれる。					
	対応策	今後の施設のあり方については、介護予防事業の状況を踏まえ検討する。当面、事後保全による修繕を行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	○	—	—	施設の利用状況を含め、近隣の類似施設と統廃合を検討する			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	3,201	3,639	4,687	1人当たりのコスト(円)	482	449	904
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	7,180	8,230	10,601
	1日当たり利用者(人)	15	18	12	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。					
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。							

リストNo	10-015	施設コード	00974
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	三ヶ日総合福祉センター		
所在(町名・番地)	北区三ヶ日町宇志803		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史
	施設	北区・社会福祉課	課長名 山本 隆久
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市三ヶ日総合福祉センター条例		
設置目的	市民の福祉の向上と健康の増進を図るため		
主な利用者	一般市民、介護保険被保険者、福祉関係団体等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(福)浜松市社会福祉協議会		
開館時間	8:30 ~ 17:15		
建物情報	総延床面積	3,010.53	土地面積 8,618.29
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1995/10/16	
	経過年数(主要建物)	27	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	388	1,404	1,214
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,582	2,712	2,698
	収入計(A)	2,970	4,116	3,912
支出(千円)	人件費	16,362	16,714	15,951
	物件費(委託料)	7,500	9,789	8,932
	維持補修費(修繕費)	3,362	2,790	1,671
	物件費(光熱水費)	5,079	5,027	4,547
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	32,303	34,320	31,101	
行政コスト(B-A)	29,333	30,204	27,189	
収支前年比	97.12	111.09	102.71	
(参考)指定管理料	37,807	37,807	37,807	
(参考)減価償却費	10,815	10,815	10,815	
利用状況	利用コマ数/年	429	407	380
	利用可能コマ数/年	2,056	2,056	1,832
	施設利用者数/年	22,084	32,057	31,987
	開館日数/年	249	257	239
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	362,925	236,954	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	浴室改修工事	9,845	2010	非常放送設備設置工事	2,962
2019	昇降機更新工事	16,968	2009	下水道切替工事	6,327
2018	ガラス飛散対策工事	4,795			
2015	空調設備更新工事(老人福祉センター及び児童会)	42,571			
2013	BEMS導入工事	3,200			
2010	温水器更新工事	3,675			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
06-014	三ヶ日図書館	地域	0.1
21-003	三ヶ日斎場	地域	0.2
14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	0.2
13-055	小深田団地	地域	0.2
14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域	0.4
01-018	三ヶ日協働センター	地域	0.4
03-013	三ヶ日文化ホール	地域	0.4
18-065	旧三ヶ日保健センター別館	地域	0.5



基本情報	リストNo	10-015	施設コード	00974	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	三ヶ日総合福祉センター			施設	北区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	三ヶ日児童館					
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の福祉の向上と健康の増進を図るため					
		主な業務内容	福祉総合相談、福祉教育及び日常生活の自立支援、地域福祉活動・ボランティア活動の育成支援、入浴施設				
		主な利用者	一般市民、介護保険被保険者、福祉関係団体等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢者の増加に伴い、継続したニーズが予想される。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進んでおり、修繕が必要な箇所が増えてきているため、日頃の設備点検と、計画的な施設改修に努める必要がある。					
	対応策	施設の老朽化に対応するため、必要な修繕を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討			
複合化	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入済み						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	9,743	10,033	9,031	1人当たりのコスト(円)	1,328	942	850
	施設利用率(%)	20.9	19.8	20.7	1開館日当たりのコスト(円)	117,803	117,525	113,762
	1日当たり利用者(人)	89	125	134	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等時には、複合化など検討するとともに、民間活力の導入について検討する。								

リストNo	10-016	施設コード	02403
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	浜北生きがいデイサービスセンター		
所在(町名・番地)	浜北区平口		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	浜北区・長寿保険課	課長名 片山 和則
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	高齢者等で、認知症予防・支援等が必要な者に対し、各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図ることを目的とする。		
主な利用者	要支援認定者及び基本チェックリストにより介護予防が必要と判断された者。		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	145.29	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2000/11/16	
経過年数(主要建物)	22	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	262	262	262
	維持補修費(修繕費)	37	28	55
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	299	290	317	
行政コスト(B-A)	299	290	317	
収支前年比	103.10	91.48	80.25	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	941	941	941	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	3,984	4,784	3,931
	開館日数/年	239	240	223
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	10,667	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
10-017	ふれあい交流センター浜北	地域	2.0
09-007	浜北保健センター	地域	0.0
13-064	下小林団地	地域	0.3
24-043	下善排水機場	—	0.5
03-005	浜北文化センター	市域	0.8
15-075	伎倍小学校	生活	0.8
07-063	伎倍ひまわりクラブ	生活	0.8
08-073	平口幼稚園	生活	0.9
13-069	法師軒団地	地域	1.0



基本情報	リストNo	10-016	施設コード	02403	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	
	施設名	浜北生きがいデイサービスセンター			施設	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	超高齢社会への対応						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		高齢者等で、認知症予防・支援等が必要な者に対し、各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図ることを目的とする。						
		主な業務内容	介護予防のための元気はつらつ教室を開催する。					
		主な利用者	要支援認定者及び基本チェックリストにより介護予防が必要と判断された者。					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	一定の利用者があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
民間事業者における受け皿整備が進み、当施設のニーズは減少する。								
特記事項								
主な事業	事業名・開催回数(2022)							
	事業①	元気はつらつ教室事業	2022	—	5,736	3,984		
		—	2021	—	5,760	4,784		
		—	2020	—	5,760	3,931		
		—	2022	—	—	—		
	事業②	—	2021	—	—	—		
		—	2020	—	—	—		
		—	2022	—	—	—		
	事業③	—	2021	—	—	—		
		—	2020	—	—	—		
—		2022	—	—	—			
事業④	—	2021	—	—	—			
	—	2020	—	—	—			
	—	2022	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	現在、介護予防事業「元気はつらつ教室」実施場所として使用しており、他の用途には使用していない。築22年が経過し、設備的には、これまで大規模改修等は行っておらず、更新の時期が近付いている。今後、施設修繕費の増加が予想される。						
	対応策	今後の施設のあり方については、介護予防事業の方向性を踏まえ検討する。当面、事後保全による修繕を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	○	—	民間事業者による受け皿整備状況を踏まえて廃止を検討		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生導入	現在は市委託事業としての実施であるが、採算面が合えば、民間事業者が介護予防事業として新規参入することも考えられる。デイサービスは送迎を伴うことから、当地域において受け皿が確保されれば、当施設を廃止し、事業を民間に委ねることも可能である。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	2,058	1,996	2,182	1人当たりのコスト(円)	75	61	81
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	1,251	1,208	1,422
	1日当たり利用者(人)	17	20	18	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>							
	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	廃止	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>当面適切な維持管理に努める。当該地域における介護予防事業の民間事業者によるサービス提供の可能性を探り、施設の廃止も視野に検討する。</p>								

リストNo	10-017	施設コード	05437
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	ふれあい交流センター-浜北		
所在(町名・番地)	浜北区小林1272-1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	浜北区・長寿保険課	課長名 片山 和則
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあい交流センター条例		
設置目的	高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)		
主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	(株)ヤタロー		
開館時間	9:00 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	2,301.63	土地面積 6,032.59
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1999/7/10	
	経過年数(主要建物)	23	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	・維持管理経費及び施設利用者数は複合施設である浜北社会福祉会館(開館9:00~21:30)含む。		



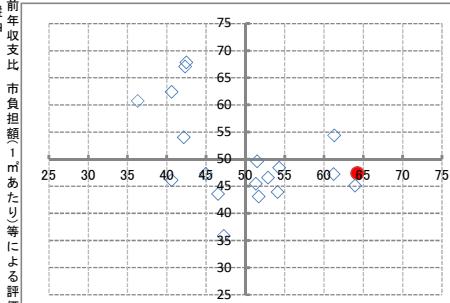
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	194	137	113
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	208	324	318
	収入計(A)	402	461	431
支出(千円)	人件費	12,398	11,882	10,843
	物件費(委託料)	7,726	7,593	8,085
	維持補修費(修繕費)	1,811	1,310	4,096
	物件費(光熱水費)	5,741	4,340	3,616
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	27,676	25,125	26,640	
行政コスト(B-A)		27,274	24,664	26,209
収支前年比		110.58	94.11	98.43
(参考)指定管理料		24,240	24,240	24,240
(参考)減価償却費		19,507	19,507	19,507
利用状況	利用コマ数/年	7,447	6,207	10,214
	利用可能コマ数/年	31,539	29,793	27,336
	施設利用者数/年	42,814	40,166	34,682
	開館日数/年	307	301	268
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	191,379	424,221	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	LED照明器具等導入工事	10,230			
2020	浴室改修工事	23,301			
2016	屋上防水改修工事	6,236			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
10-016	浜北生きがいデイサービスセンター	地域	2.0
24-041	小林雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.3
08-074	北浜北幼稚園	生活	0.4
07-082	第一・第二すみれクラブ	生活	0.5
07-064	第一・第二すずらんクラブ	生活	0.5
15-083	北浜北小学校	生活	0.5
24-042	瀬崎雨水貯留池排水ポンプ室	—	0.6
08-068	北浜中央幼稚園	生活	0.8
17-008	美園中央公園	地域	0.9

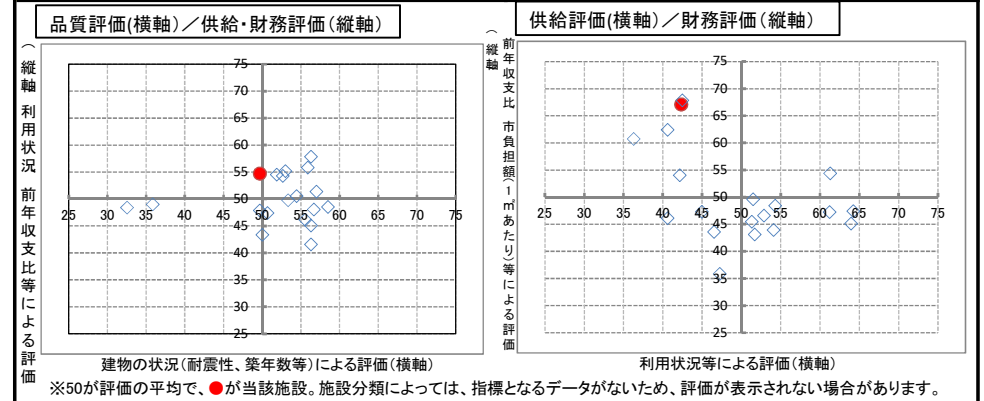


基本情報	リストNo	10-017	施設コード	05437	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	ふれあい交流センター浜北			施設	浜北区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	浜北社会福祉会館					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の生きがいづくり及び健康増進並びに地域の子育てを支援するとともに、高齢者と子どもの世代を超えた交流の場を提供するために設置。(浜松市ふれあい交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	利用者の教養の向上、レクリエーション及び高齢者の健康増進に関する事業の実施、老人クラブの援助、並びに高齢者及び中学生以下の子どもとその保護者の交流支援等				
		主な利用者	市内に居住する60歳以上の者、市内に居住する中学校の生徒以下の者及びその保護者、これらの者を支援する活動に関わる者等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		各種講座・イベント等の実施(施設利用者数)	2022	—	—	42,568	
			2021	—	—	39,907	
			2020	—	—	32,956	
事業②		貸館特別利用	2022	—	—	246	
			2021	—	—	259	
			2020	—	—	200	
事業③		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
	2020		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築23年が経過し、経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。一定規模の修繕については指定管理者負担で行ってもらっているものの、今後想定される大規模改修や設備更新については市で実施する必要がある。					
	対応策	施設、設備の改修や備品の更新を計画的に行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	○	—	—	令和2年度から、高齢者のみならず子育て世代も利用できる施設へ転換済み。			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	指定管理者導入済みであり、今のところ民間活力活用の可能性はない。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,850	10,716	11,387	1人当たりのコスト(円)	637	614	756
	施設利用率(%)	23.6	20.8	37.4	1開館日当たりのコスト(円)	88,840	81,940	97,795
	1日当たり利用者(人)	139	133	129	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修や更新が必要となった時点で複合化や統廃合について検討する。</p>								

基本情報	リストNo	10-018	施設コード	01493	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	水窪高齢者交流センター			施設	天竜区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高齢者の健康増進及び生きがいのある生活を維持するため設置(浜松市水窪高齢者交流センター条例第1条)					
		主な業務内容	元気はつらつ教室、放課後子ども教室				
		主な利用者	高齢者、放課後児童 等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		元気はつらつ教室・開催日数:102日(2022)※原則として、毎週木曜日・金曜日(曜日によりメンバーは異なる)に開催。	2022	—	800	981	
			2021	—	800	938	
			2020	—	800	959	
			2022	—	1,200	690	
事業②		放課後子ども教室・開催日数:199日(2022)※原則として、週3~5回	2021	—	1,200	1,226	
			2020	—	1,200	1,087	
			2022	—	—	126	
事業③		神原いきいき教室(サロン活動)・開催日数:11日(2022)	2021	—	—	115	
			2020	—	—	109	
	2022		—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	本施設は、昭和58年国の施設(法務局)として建築、平成13年旧水窪町に譲渡され、介護予防拠点施設として改築された施設である。現在、主に介護予防事業「元気はつらつ教室」実施場所として使用している。築40年が経過し、施設・設備の老朽化が進行している。					
	対応策	今後の施設のあり方については、介護予防事業の状況を踏まえ検討する。当面、事後保全による修繕を行っていく。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	無料施設のため、民営化は難しいものと考えている。また、山間部のため、引き受け先を見出すことが難しい。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,264	1,946	1,072	1人当たりのコスト(円)	164	199	116
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	1,224	1,991	1,163
	1日当たり利用者(人)	7	10	10	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。					
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。					
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	
当面適切な維持管理に努める。							

基本情報	リストNo	10-019	施設コード	01219	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	春野福祉センター			施設	天竜区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民福祉の向上と健康増進を図るため					
		主な業務内容	貸館業務、入浴施設、福祉総合相談、地域福祉活動・ボランティア活動の育成支援				
		主な利用者	福祉関係団体、地域住民、レジャー客、市委託事業参加者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢者の増加に伴い、継続したニーズが予想される。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の開設から24年が経過し、施設・設備の老朽化が進み、修繕が必要な箇所が増えているため、日頃の施設点検と計画的な施設修繕に努める必要がある。					
	対応策	安全に利用していただくために、緊急性の高い設備から改修する必要がある。地域住民の利用を促進するため、ニーズにあった事業展開や活動拠点施設としての機能を向上させていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討	
	複合化	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	指定管理者制度導入済み						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	10,399	9,446	9,407	1人当たりのコスト(円)	1,349	1,286	1,549	
	施設利用率(%)	3.8	4.9	6.0	1開館日当たりのコスト(円)	54,017	48,405	53,845	
	1日当たり利用者(人)	40	38	35	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸） 利用状況 前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				（縦軸） 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価	<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修を進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	統廃合	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等や更新が必要となった時点で、利用状況や地域の状況を踏まえ複合化など検討する。</p>									

リストNo	10-021	施設コード	00059
利用用途別分類(施設分類)	高齢者福祉施設		
施設名	くまみデイサービスセンター		
所在(町名・番地)	天竜区熊2153		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課	課長名 亀田 岳史
	施設	天竜区・長寿保険課	課長名 谷野 聡
設置根拠(法)	介護保険法		
条例	—		
設置目的	介護保険法による通所介護施設		
主な利用者	介護保険利用者、介護予防事業対象者		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	10:00 ～ 16:00		
建物情報	総延床面積	127.20	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1983/3/1	
経過年数(主要建物)	40	代表地目(現況地目)	0.00
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	令和4年3月17日付浜松市指令天長第19号により、社会福祉法人天竜厚生会に対して、行政財産の使用許可(介護保険法に基づく通所介護事業所として)を行っている。		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	33	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	33	0	0	
行政コスト(B-A)		33	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		378	378	378
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	684	822	779
	開館日数/年	207	209	207
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	2,061	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	15-090	熊小学校	生活	0.0
	03-059	熊ふれあいセンター	生活	0.2
	25-023	旧熊市場簡易水道	—	0.3
	14-120	天竜第11分団熊	コミュニティ	0.4
	04-050	黒滝あずまや	小規模等	1.8



基本情報	リストNo	10-021	施設コード	00059	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	くまみデイサービスセンター			施設	天竜区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		介護保険法による通所介護施設					
		主な業務内容	介護保険通所介護事業、介護予防事業(元気はつらつ事業)				
		主な利用者	介護保険利用者、介護予防事業対象者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		高齢者の価値観・意識の多様化等により利用者数は減少傾向である。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者数の減少傾向は続くことが見込まれる。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		高齢者デイサービス事業・開催日数:207日(2022)	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	822	
			2020	—	—	779	
			2022	—	450	—	
事業②		元気はつらつ教室・開催日数:0日(2022)※原則として金曜日に開催。欠席あるいは登録者がいないときは開催なし。	2021	—	450	—	
			2020	—	450	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築39年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。					
	対応策	当面、事後保全による修繕を行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	山間部のため、受け入れ先を見出すことが難しい。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	259	0	0	1人当たりのコスト(円)	48	0	0
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	159	0	0
	1日当たり利用者(人)	3	4	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	10-022	施設コード	02469	所管課	本庁	健康福祉部高齢者福祉課
	施設名	舞阪高齢者福祉施設			施設	西区・長寿保険課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	超高齢社会への対応					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		地域高齢者の活動拠点として、また災害時における避難所として設置					
		主な業務内容	地域高齢者の活動拠点				
		主な利用者	第二弁天自治会、第二弁天島老人クラブ				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者がある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 地域の利用者があり、ニーズはある。						
	特記事項 —						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	地元の高齢者のために使用していただきたいという意思のもとに、旧舞阪町の宮本英雄氏による寄付物件のため、地元管理。光熱水費は、地元自治会の負担としている。築年数を重ね、修繕必要箇所が出てきている。					
	対応策	当面、事後保全による修繕を行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	2,144	2,563	0	1人当たりのコスト(円)	795	1,728	0
	施設利用率(%)	4.7	1.9	5.3	1開館日当たりのコスト(円)	1,148	1,373	0
	1日当たり利用者(人)	1	1	1	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまで、軽費老人ホーム佐鳴荘の民営化などを行ってきました。高齢者人口は増加しているものの、民間による類似サービスの拡大や高齢者の価値観・意識の多様化、利用者の固定化などの背景もあり、施設の利用者数は横ばい状態から次第に減少しています。また、旧老人福祉センターについては、令和2年4月に、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」に転換しました。今後は、計画的に浴室の講座室等への改修などを進めつつ、高齢者と子育て世代の交流拠点として活用していきます。全体的に、設置から30年以上を経過している施設もあり、施設・設備の老朽化が課題となっています。このため、施設利用の実態を踏まえつつ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、大規模な改修や更新が必要となった時点での管理主体変更、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などを検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
貸付け財産として適切な維持管理に努める。								